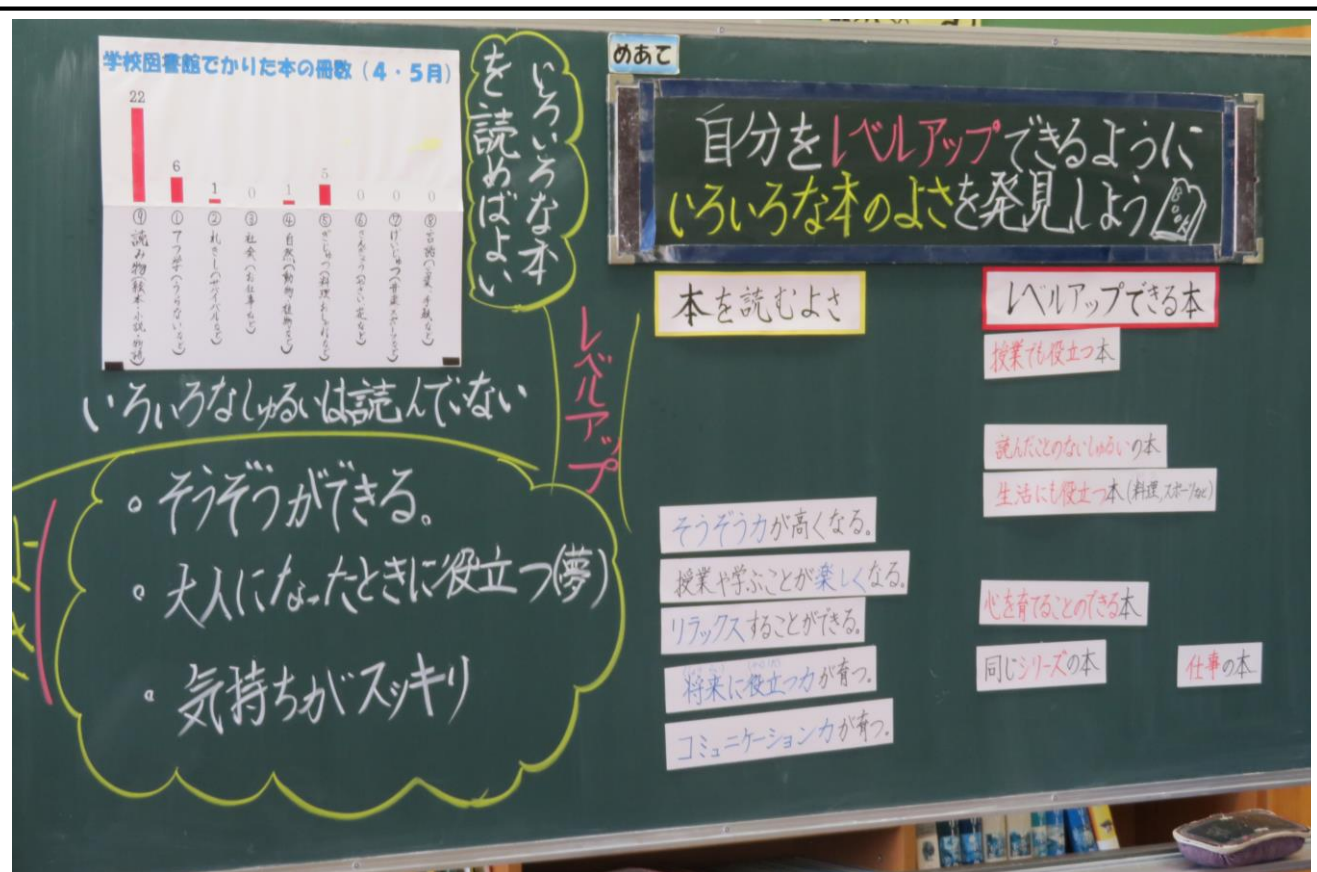




【写真①：板書 (左)】

【事前アンケート】

アンケートのおねがい

- 本を読むことは好きですか。
○ とても好き ○ まあまあ好き ○ あまり好きではない ○ 好きではない
- 1でえらんだ理由を書いてください。
- あなたは、いつもどんな本をかりたり読んだりしていますか。
① 絵本 ② 百科辞典 ③ 国語辞典 ④ れきしの本 ⑤ 動物の本
⑥ 小説 ⑦ ものがたり ⑧ 紙しばい ⑨ 音楽の本 ⑩ 仕事の本
その他
- 本を読むと、どんなよさがあると思いますか。あなたの考えをいくつも書いてください。
- どんな本を読みたいと思いますか。あてはまるものに○をつけてください。
① 絵本 ② 百科辞典 ③ 国語辞典 ④ れきしの本 ⑤ 動物の本
⑥ 小説 ⑦ ものがたり ⑧ 紙しばい ⑨ 音楽の本 ⑩ 仕事の本
その他

【意思決定カード】

【学校図書館の魅力を発見して、自分をレベルアップさせよう!】

月 日

- 今日の授業の感想を書きましょう。

《チャレンジタイム》

- あなたは、これから学校図書館をどのように利用していきますか。

【チャレンジシート】

日付	/	/	/	/	/
サイン					

- * チャレンジタイムに書いたミッションをクリアすることができた人は、日付を
上に書きましょう。
* 毎回、中原先生からサインをもらうようにしましょう。

《パワーアップタイム》

- チャレンジタイムに書いたミッションをクリアすることができた人は、新しい
ミッションを考えて、取り組んでみましょう。

【チャレンジシート】

日付	/	/	/	/	/
サイン					

() 年 名前 ()

指導のワンポイント

☆ 連続した必要感を高めるための手立て

○ 事前指導での工夫

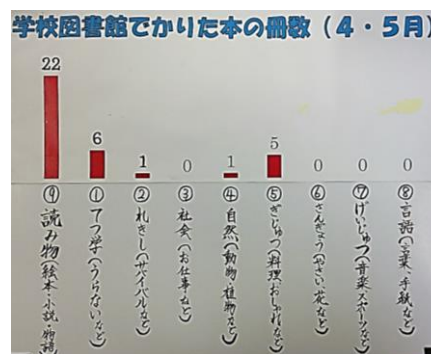
・教頭先生による本の紹介

学校図書館においてある伝記の中から影響を受けた本を紹介してもらい、学校図書館の魅力を伝えてもらった。

○ 「つかむ」過程での工夫

・子どもにとって現実的な課題の設定（写真②）

分類ごとに整理したグラフを提示することで、多くの種類の本を読む必要性を感じられるようにした。



【写真②：課題の提示】

○ 「見付ける」過程での工夫

・「本のよさ」と「レベルアップできる本」をブックトークで紹介（写真③）

子どもの知的好奇心を高めるために、事前に読んでみたい本についてのアンケート調査を実施し、その中からこれまで子どもがあまり読んでいない分類の本を紹介した。



【写真③：司書補によるブックトークの様子】

○ 「決める」過程での工夫

・ブックトークで紹介してもらった本の自由読み（写真④）

自由に本を読むことで更に必要感をもって意思決定することができた。



【写真④：自由読みの様子】

○ 事後指導での工夫

・意思決定した目標を学校図書館に掲示

☆ 効果的にゲストティーチャーを活用するために

○ ゲストティーチャーと担任との事前の打ち合せの流れ

①子どもの課題把握 → ②本の魅力（よさ）について → ③ブックトークする本を探す → ④紹介する順番を考える → ⑤紹介する方法（クイズ・読み聞かせ等）を考え練習する

成果

- 「色々な本を読みたい」という必要感を高めるための手立てを講じたことで、次の日から主体的に学校図書館を訪れ、様々な分類の本を借りている子どもが増えた。

アドバイス

- ブックトークで紹介してもらった本をすぐにでも借りたいと思う子どもは多い。しかし、その本がどこに陳列されているか分かっていない子どもは意外と多い。そこで、学校図書館の写真に紹介した本の写真を貼っておく（写真⑤）と、すぐにでも借りることができる。



【写真⑤：紹介した本の配置】